

各関係機関団体の長 }  
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長  
(福岡県病虫害防除所)

平成 30 年度病虫害発生予察技術情報第 1 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 1 号（キウイフルーツかいよう病の防除徹底について）を発表したので送付します。

技術情報第 1 号

1 対象作物名：キウイフルーツ

2 病虫害名：キウイフルーツかいよう病 Psa 3 系統

3 現在の発生状況

本年は、4 月 2 半旬調査においてヘイワード 3 ほ場のうち 2 ほ場 2 樹で発生を確認し、昨年より発生が早く、発生樹数も多い（図）。これは、春先の高温傾向により樹液の流動が早まったことと、冬季の気温が低く凍害により樹体の亀裂が生じたことが要因であると考えられる。

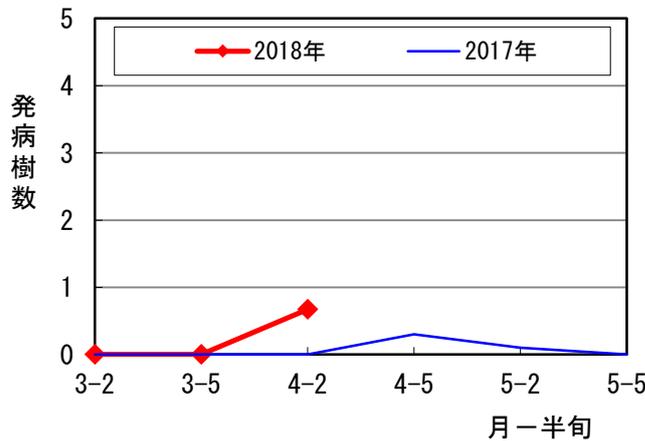


図 ヘイワードでの発生樹数の推移  
(3 ほ場各 5 樹を調査し、平均発病樹数を算出)

4 防除対策

本病の防除対策は、発病を早期発見し、発症部を早期除去する耕種的防除と予防的な薬剤散布が主体となる。

今後、樹体から流れ出た菌泥が、風雨により飛散し、周辺園地へ感染拡大する恐れがある。本病発生園地や周囲に発生園地があった場合は、以下の防除対策を徹底する。

(1) ほ場巡回により、樹液の漏出（写真）や芽枯れ等の病徴の早期発見に努め、発症部を除去する。

また、発生が疑われる場合は、速やかに関係機関へ連絡し、対応を協議する。



写真 芽枯れおよび枯死した芽からの樹液漏出

- (2) 発芽後は薬害低減のために炭酸カルシウム剤を加用した銅水和剤、あるいは抗生物質剤を定期的に散布する。銅水和剤は薬害が生じやすいので注意する。
- (3) 受粉は、かいよう病未発生地域で採取されたことが確認された花粉を用いる。
- (4) 器具や人への病原菌の付着による伝染を防ぐため、園地内の衛生管理を徹底する。
  - ① ハサミやノコギリ等の器具は使い回しせず、園地ごとに決められたものを消毒して使用する。
  - ② 園地に入る前に手と靴（特に靴底）を消毒する。
  - ③ かごやキャリーに植物残さを混入させない。
  - ④ 園地を出る前に、すべての服、帽子、靴についた植物残さ、靴底の土を除く。
  - ⑤ 園地を出たあとは、手、服、帽子、靴（特に靴底）を消毒する。
  - ⑥ 発生園で作業した場合は、そのままの服装で他の園地へは行かない。

※ 手は消毒用アルコール（70%）、靴や管理器具は次亜塩素酸ナトリウム水溶液（ハイター等）で消毒する。

---

○病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。  
「福岡県病虫害防除所ホームページ」 <http://www.jpnpn.ne.jp/fukuoka/>

